

## 2025年度

### 二チイキッズ三軒茶屋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の理念に則り、不適切保育の撲滅、子どもの最善の利益を考え、子ども達の気持ちを大切に、寄り添った保育を行ってきた。
子どもの発達援助	子ども達一人ひとりの成長や発達に応じたきめ細やかな対応を行い、毎日行ってきたミーティングで、話し合いを行い、職員全員でその事情を共有しながらその子に合った一貫した対応を行うことができた。
保護者に対する支援	可能な限り日々の送迎時には担任が対応し、その日に保育園であったことを伝えるだけではなく、家での様子を共有し保護者の疑問や不安を解消しながら、信頼関係を築き、力になってきたのではないかとと思われる。
保育を支える組織的基盤	職員の定着により、職員間の信頼関係も築かれ、日々の保育の流れや、行事のやり方などが引き継がれて、新しいプログラムを行うなど、安定だけではなく、発展した保育を行うことができたように感じる。

総評
「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の理念のもと、子ども達の探究心を育むべく「すくわくプログラム」に初めて取り組み、身近な色や光をテーマに普段の遊びから、より子ども達の不思議に思う心や知りたい思いを深めることができた。また、職員の定着により、新しいことへの挑戦を含め、日々の保育や行事などの充実を図れたように感じる。そのような中、来年度をもって閉園することが決まり、保護者や職員に動揺や不安があったが、それでも本園で過ごしていきたいと思っていただけたご家庭と、最後の一年間を今まで以上に楽しい保育園にしていくべく、職員一同が気持ちを一つにすることができた。引き続き、安全を守りながら、子ども達が中心の保育を行っていけるようにしていきたい。